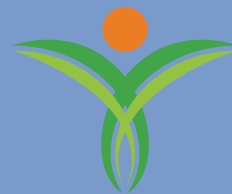


由布市 議会だより



No.33

2014年1月号

新年明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いいたします



CONTENTS

- 平成25年第3回臨時会概要 1
- 議長就任挨拶、平成25年第4回定例会概要 2
- 議案質疑 3
- 委員会報告 4～5
- 一般質問「市政を問う」 6～12
- ◆ 佐藤 郁夫 議員 「3期目の市政運営は」等
- ◆ ニノ宮健治 議員 「市長選挙をどう分析しているか」等
- ◆ 刈野けさ子 議員 「挾間の水問題について」等
- ◆ 甲斐 裕一 議員 「由布川溪谷5年計画の進捗状況について」等
- ◆ 加藤 幸雄 議員 「由布市の中長期財政計画について」等
- ◆ 太田 正美 議員 「行財政計画について」等
- ◆ 野上 安一 議員 「市長のまちづくりビジョンについて」等
- ◆ 長谷川建策 議員 「地域振興局の充実と強化について」等
- ◆ 工藤 俊次 議員 「国保税一世帯一万円の引き下げを」等
- ◆ 鷺野 弘一 議員 「大分のへその今後の計画について」等
- ◆ 溝口 泰章 議員 「塚原の新たなメガソーラーへの対応は」等
- ◆ 太田洋一郎 議員 「組織再編計画について」等
- ◆ 小林華弥子 議員 「価格変更や事前の接触禁止はプロポーザル違反」等
- 由布大分環境衛生組合議会報告 12
- 請願・陳情の結果、賛否一覧表 裏表紙

平成25年

第3回臨時会

〈11月13日〉

が開催されました。

◆議員選挙による選挙管理委員会委員の選出を指名推薦で行いました。(敬称略)

□ 選挙管理委員会委員	生野 美智子 (庄内町)	後藤 胖治 (挾間町)
	小野 明生 (湯布院町)	浦松 辰信 (湯布院町)
(補充員)	田中 文徳 (庄内町)	花宮 廣務 (挾間町)
	今井 干城 (湯布院町)	宮崎 直美 (挾間町)

◆人事関係、各種委員会の委員に次の方の任命・選任に同意しました。(敬称略)

□ 教育委員会委員	芝野 聖美 (庄内町・再任)	佐藤 式男 (湯布院町・新任)
□ 固定資産評価委員	後藤 胖治 (挾間町・再任)	
□ 公平委員会委員	清水 立茂 (大分市・新任)	河野 眞一 (庄内町・新任)
	宮崎 直美 (挾間町)	

◆議会の改選に伴う議会代表の監査委員として、新井一徳氏(庄内町)の選任に同意。

◆提案された議案3件を原案のとおり可決しました。

□ 平成25年度挾間中学校校舎改築(建築主体)工事請負契約の締結について

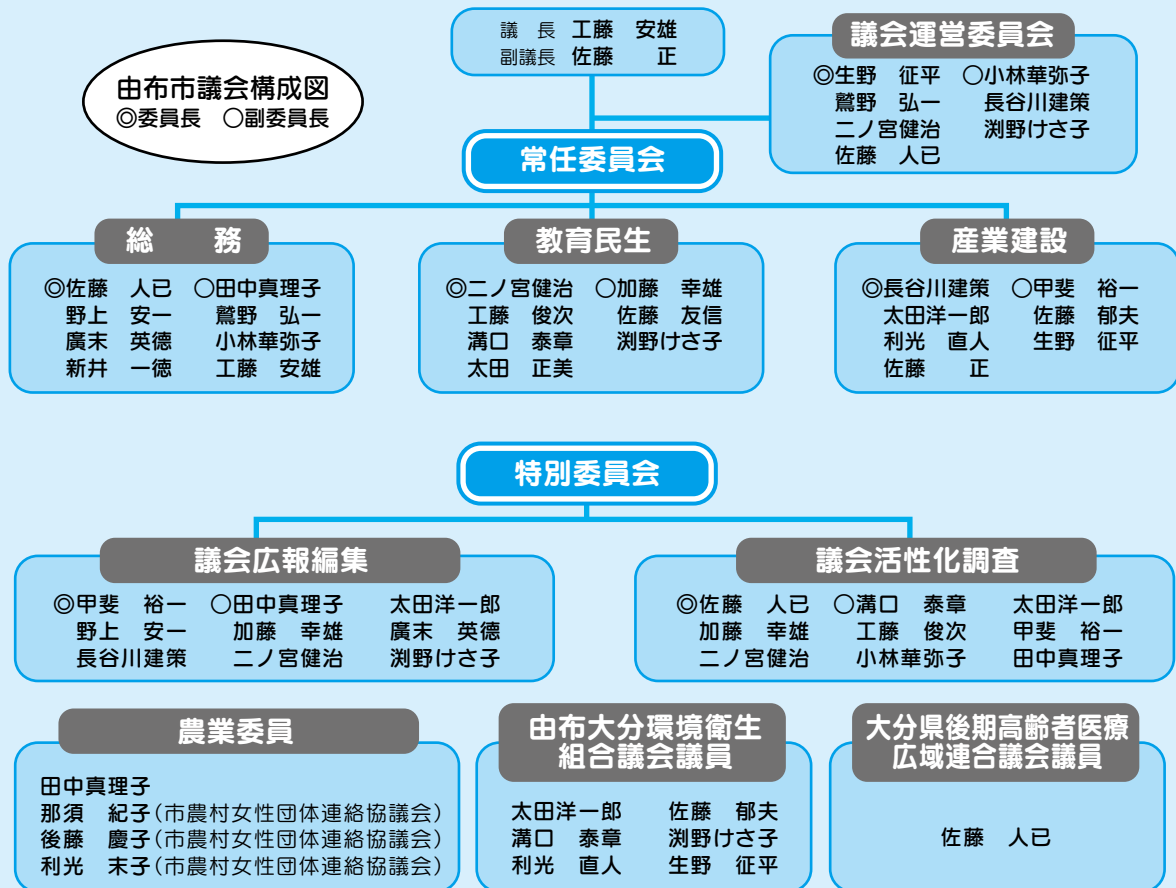
上記工事で、要件設定型一般競争入札により、新成建設株式会社(大分市)が6億8,202万円で落札したことによる工事請負契約締結について、議会の同意を求めるもの。

□ 防災ラジオの取得について

災害に対する防災情報を周知するために、市内全戸に防災ラジオを設置する事業で、富士通ネットワークソリューションズ(株)九州支店が5,481万円で落札したことによる、市有財産取得について議会の同意を求めるもの。

□ 由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

議員選挙により議会構成が次のとおり変わりました。(特別委員会の設置は平成25年第4回定例会で行いました。)



議長就任挨拶



由布市議会議長
工藤 安雄



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、由布市議会の活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、由布市議会は昨年10月の改選により22名でスタートし、私も11月13日の臨時会において第5代議長に就任し、その重責と使命の重大さを痛感するとともに、円滑な議会運営と市政発展に誠心誠意取り組んで参りたいと決意を新たにしております。今後ともさらなるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成25年

第4回定例会

〈12月4日～12月17日〉

が開かれました。

今定例会で提案された報告2件、議案21件、請願1件、陳情3件を審議しました。その結果、請願1件を採択、陳情3件のうち採択1件、不採択1件、趣旨採択1件としました。

◆ 予算関連

- ◆ 平成25年度由布市一般会計補正予算(第3号)・平成25年度由布市介護保険特別会計補正予算(第3号)・簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)・水道事業会計補正予算(第1号)の4議案が提案された。

可決

◆ 条例改正

- ◆ 由布市狭霧台園地条例の制定について
- ◆ 由布市督促手数料及び延滞金条例の一部改正について
- ◆ 由布市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について
- ◆ 由布市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- ◆ 由布市中小企業者店舗等整備改善融資金利子補給条例の一部改正について
- ◆ 由布市立小学校の設置に関する条例の一部改正について
- ◆ 由布市立幼稚園の設置に関する条例の一部改正について

可決

◆ 指定管理者の指定

由布市指定管理者選定委員会が選定した下記の8施設を指定管理することについて、議会の議決を求めるもの

可決

施設名	指定管理者
由布市湯布院福祉センター	社会福祉法人 由布市社会福祉協議会
由布市挾間老人福祉センター	社会福祉法人 由布市社会福祉協議会
由布市陣屋の村自然活用施設	株式会社 豊後木材市場
由布市長期滞在施設(奥江休暇村センター)	奥江休暇村管理組合
由布市里の駅陣屋市場	陣屋市場組合
由布市川西農村健康交流センター	川西校区農産物管理組合
由布市下湯平地域特産物加工施設	下湯平地域特産物加工所管理組合
由布市乙丸温泉館	乙丸区

◆ その他

- ◆ 不動産の取得について

由布市消防本部、消防署新庁舎建設予定地の土地売買契約を締結したことから、挾間町上市の6,059㎡の土地取得について、議会の議決を求めるもの

可決

議案質疑

◎専決処分の報告

Q. 陣屋の村でマンホールの受け台が損傷していたために利用者が怪我をした事故について、市が損害賠償したとのことだが、賠償責任は指定管理者にあるのではないか。

A. (総務課長) 指定管理施設における事故の賠償責任については、事案ごとに検討する。今回の事故原因は指定管理者による通常の点検業務では発見しがたいものであったため市が賠償する。

◎由布市湯布院福祉センターの指定管理者の指定

Q. 今回、社会福祉協議会の会長に由布市長がなったとのことだが、指定管理の指定をする側とされる側が同一人物なのは問題ではないか。

A. (総務課長) 民法108条の双方代理の禁止に該当するのではないかとのことだが、指定管理者を指定する行為では該当しないが、協定書を交わすことについては該当する

ので、協定書の相手方は社会福祉協議会の副会長にする予定だ。

◎平成25年度一般会計補正予算(第3号)

Q. 湯布院中学校の耐震工事が国の補助金交付対象にならなかったとのことだが、事業が終わってからこの様なことが分かったのか。

A. (教育総務課長) 計画当初から県に設計書の審査をしていたが、計画も双方で認識していたものだと思っている。その上で精査された後、今年の9月10日になってやはり交付対象にならないという確定通知がきた。

◎平成25年度水道事業会計補正予算(第1号)

Q. 挾間の新水源確保のために調査費を計上しているが、新水源の確保だけでなく、旧挾間町時代に確保した朴木井路や元治水井路の活用は考えないのか。

A. (水道課長) 朴木井路の方は、かんがい期等において1日の挾間町全体を賄う水量確保が難しく、協議が必要だと思っている。元治水井路については、大分川の水利権を新たに取得しなければならぬ。

委員長報告に対する質疑

◎由布市湯布院町塚原における外資系企業による大規模土地購入と大規模太陽光発電(メガソーラー)開発に関する陳情

Q. 大規模土地購入等は国、県の関係機関と連携して行政指導や措置をとること。建設指導要項を公的な指導効果の強められる条例にすること。潤いのあるまちづくり条例の適用対象にメガソーラーの開発行為を条項として加えること、この3点の願意について確実に採択というふう

に理解してよろしいか。

A. (産業建設常任委員長) 趣旨採択が2名いたが、それは陳情の願意を十分理解した上での趣旨採択である。ただ、土地の購入方法、外資系企業に対しての土地購入と情報収集及び今後の開発に関してもう少し検討する余地があるということでの趣旨採択で、決して反対の意見ではない。

◎議案第90号平成25年度由布市一般会計補正予算(第3号)

Q. 小松寮の件であるが、今年の4月に労働基準監督署の監査があり、労働契約等の改善、4月にさかのぼって割増賃金を支払う等の勧告されたことについてお聞かせねがいたい。

A. (教育民生常任委員長) 小松寮の今回の勧告がなぜ起こったかという、今まで職員に対して夜間は宿直業務のみをお願いしていた。それがいつの時点からか介助も行うようになったため宿直業務と介助を含めた勤務に変わり、長時間労働となったということが、放置されてこういうことが起こったと聞いている。

長時間労働に対しての改善等について、県の是正勧告書では、これを是正するよう指摘があり、労働契約等の改善報告を行った。質問の4月にさかのぼった件について、事務局に何度も委員会として尋ねた。その結果、労働基準監督署は4月にさかのぼればよいという結論だとのこと、市もそのようにしたということである。

総務委員会報告

■平成25年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出の総額に、2億6775万9千円を追加し、予算総額を182億5587万5千円とするもの。

所管する総務委員会に係る主なものとして、歳入については、市税でたばこ消費税と、滞納額については当初予算の見積額より上回った分。また、国有提供施設等の交付金は、額の減額決定によるもの。

歳出の主なものとしては、地方交付税減額に伴う人件費の削減。

総務費は、確定申告に向けての申告専用のパソコンの購入費分。庁舎の管理費においては、挟間庁舎の異なるハトの糞害などの対策費の増額。尚、庁舎の予防ネットの覆いについて、委員会では景観対応等を考慮し、種々の方策を検討することも必要ではないかとの意見を付した。

また、湯布院方面隊の4分団3部消防車庫新築と旧詰所の解体予算829万円を計上。今回の建設は種々の事情から、詰所と車庫の併用建設が困難で消防車庫のみとの事で、有事や国道に隣接しての車庫と

詰所が(詰所は地区の公民館と併用との事)分離になることに委員から懸念の意見も出された。

消防費では、消防団長靴40足分の購入費。修繕費として、湯布院方面隊の3分団2部の消防ポンプ修理費、常備消防費では、消防署の新採用消防職員の被服費や機材費に267万4千円計上。また、救急消耗品と救急車と救命救急センターを結ぶ画像転送システム備品購入費の221万円を計上。

全員一致で可決すべきと決定した。尚、当委員会は、委員会審査期間中、豊後大野市消防本部の施設や消防機能システム等について、現地視察を行った。



教育民生委員会報告

■由布市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について

■由布市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

二つの条例の改正は、25年度税制改正について最近の低金利の状況を勘案し、市中金利を踏まえた水準に両保険料に係る延滞金の利率の見直しを行う一部改正。

全員一致で可決すべきと決定した。

■由布市立小学校の設置に関する条例の一部改正について

■由布市立幼稚園の設置に関する条例の一部改正について

本案は、市立南庄内小学校・南庄内幼稚園が平成26年3月末で閉校し、市立西庄内小学校・西庄内幼稚園に統合するための条例の一部改正するもの。全員一致で可決すべきと決定した。

■由布市湯布院福祉センター及び由布市挾間老人福祉センターの指定管理の指定について

本案は、指定管理期間が平成26年3月末で終了する為、公募によらない市長の指定による管理者選定によ

り、引き続き由布市社会福祉協議会を指定管理者として指定するもの。全員一致で可決すべきと決定した。

■平成25年度由布市一般会計補正予算(第3号)

当委員会に関する主なものとして、債務負担行為で平成26年度から実施する「子ども子育て支援新制度電子システム策定業務委託」として950万4千円。改選民生委員36名分の県民生委員協議会負担金36万円。保育所活動推進事業1923万1千円は保育士の処遇改善に取り組むもの。小松寮事務費184万6千円は、労働基準監督署の勧告に伴う深夜労働及び休日勤務に対する割増賃金。教育費の中学校建設費は、湯布院中学校校舎改築事業で交付金の決定通知で交付はされないことが明らかになり、国庫支出金9066万8千円の減額・合併特別債1億1020万円の増額・一般財源1953万2千円減額の財源更正等。

小松寮の労働基準監督署の勧告は、是正勧告が出されるまで長年放置していたことは怠慢と言わざるを得ない。勧告に基づいた措置を速やかに実施し、働きやすい職場とする改善を求めた。湯布院中学校校舎改築事業での財源更正の件に

産業建設委員会報告

ついでには、交付要綱の解釈の誤りという初歩的ミスが原因で更に6月・9月議会と何度も修正の機会があったのに行わなかった事は、議会軽視であり猛省すべきである。又、上司に報告し早期対処がなされない体制・体質も問題ありと指摘し、今後このようなことのないよう厳重注意した。

全員一致で可決すべきと決定した。

■平成25年度由布市介護保険特別会計補正予算(第3号)

今回の補正は居宅サービス給付・特定入所者介護サービス等の保険給付費の見込み増により、不足分を増額するもの。

全員一致で可決すべきと決定した。



■由布市陣屋の村自然活用施設の指定管理者の指定について

当議案は、指定管理期間が平成26年3月末に終了するため、引き続き「株式会社豊後木材市場」を指定管理者とするもの。

当該施設における損害賠償責任については、指定管理者の日常業務に起因する事故を除き、通常の点検管理業務で発見し難い場合は市に責任があるとの報告を受けた。

全員一致で可決すべきと決定した。

■平成25年度由布市一般会計補正予算(第3号)

当委員会にかかる補正の主な歳入は、雑入の建設課分のみどり住宅火災に伴う保険金によるもの。

歳出は、環境衛生総務費の水道未普及地域改善事業で、挾間町中台地区水道のポンプ故障による事業費の60%を補助するもの。農業振興費では、中山間地域等直接支払交付金の協定面積が20ha追加されたことに伴う増額。林業振興費の個体数調整捕獲事業補助金は、鳥獣防止緊急捕獲対策事業が拡充

されたことにより、猟期内11月・3月の捕獲補償単価を1万円に増額。土木総務費では野畑井ノ尻地区における工事請負費。道路維持費は田代小平線舗装補修工事外。道路新設改良費は、下市見取線、中村柏野循環線の事業推進を図るための増額。住宅管理費の修繕費はみどり住宅火災に伴うもので、100%保険金から支払うもの。

を減額し、2億4827万6千円となった。不足額については、過年度分損益勘定留保資金からの補てん額を減額する。

平成26年度から5カ年の漏水対策事業計画が示された。委員会の意見として、料金改定に関する業務と並行し、莫大な漏水対策事業の経費抑制のため、さらに未収金滞納整理に今後とも努力するよう求める意見があった。

■平成25年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ286万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億6477万円とするもの。

担当課から老朽管更新工事、紫外線導入実施設計等の長期的な事業計画が示された。委員会からは料金改定に関する業務と並行して、未収金滞納整理に今後も努力するよう強く求める意見があった。

全員一致で可決すべきと決定した。

■平成25年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入では1311万5千円の増額。支出では2108万5千円を増額。資本的収入は47万6千円の増額、資本的支出は24万1千円

■由布市湯布院町塚原における外資系企業による大規模土地購入と大規模太陽光発電(メガソーラー)開発に関する陳情書

本陳情は、湯布院町塚原における大規模土地購入が行われたことに伴い、情報収集や開発抑制等を求めるもの。

委員の意見として、陳情の願意は十分理解でき、住民の不安を取り除く必要がある。当該土地購入についての情報収集は事務手続きでの問題があるのではとの心配の声、また関係条例との整合性を十分考慮する必要があるといった意見があった。執行部に対して、業者の動向を注視し、関係各課で連携して取り組むよう求めた。

賛成多数で採択すべきと決定した。

一般質問 市政を問う



佐藤郁夫 議員

3期目の市政運営はどのようにしていくのか。

- Q** 本庁舎建設の具体的スケジュールと行政組織再編計画はどのようにしていくのか。
- A (市長)** 市民説明会の意見や議会からの要望等を集約検討中ですが、本庁舎建設については利便性を考え1ヶ所で仕事ができるような形をつくっていききたい。今月中に実施設計業務を発注する予定。組織再編計画の基本方針は変わらないが少しの調整はしていきたい。
- Q** 小松寮などの福祉施設に行く道路は早く整備すべき。
- A (建設課長)** 過疎地域自立促進計画で対応していく。具体的には平成26年に現地調査(測量)をしていきたい。
- Q** 老朽化した消防出張所の建て替

え計画はどうなっているのか。

- A (市長)** 本署、庄内・湯布院消防出張所も老朽化しているので平成26年から27年に建て替えを計画している。
- Q** 庄内地域で出生率が低い原因の検証と対策を。
- A (市長)** 原因は20代・30代の人口が狭間地域、湯布院地域の3分の1から2分の1程度と少ないためです。対策として、子育てしやすい環境の整備や未整備の高速情報通信網である光ファイバー網の整備、道路などの基礎的生活条件整備を進め魅力ある地域づくりをしていく。

安全・安心して暮らしていくための施策は。

- Q** 情報通信網整備計画(光ファイバー)の進捗状況は。
- A (総合政策課長)** 担当課としては来年度から着手していきたい。
- Q** 防災ラジオの配布時期はいつ頃か。
- A (防災安全課長)** 3月中旬に全戸配布したいと考えています。配布方法は協議中です。
- Q** 空き家調査の実施状況は。
- A (市長)** 老朽危険家屋等空き家の個別実態調査中で、3月末に終了予定です。
- その他、連携型中高一貫教育を核とした人材育成について質問しました。



二ノ宮健治 議員

市議会2期目、首藤市長3期目の初議会。多くの懸案事項について26年度予算編成も始まっており、どのように取り組み予算化していくのかについて質問する。

- Q** 予想以上の厳しい市長選挙だったが、どのように分析しているのか。
- A (市長)** 組織再編計画に基づく本庁舎方式移行も争点となったが、信任を頂いたので、「由布市100年の大計にたつた市民の使いやすい庁舎建設」を早急に進める。また、行政施策を進めるに当たっては、市民の方に寄り添った形で、細やかなニーズに対応できるよう最大限の配慮をしていく。

Q 挾間の新水源確保については、根源は大分川の水質汚濁であり、ISO14001の取得や合併浄化槽の普及など抜本的な解決策も必要では。

A (市長) 策定中の「環境基本計画」の中に、浄化槽の普及などの総合的な対策を設定して、大分川をきれいにする取り組みを実践したい。また、水源の確保については、まず電気探査による地下水調査を実施し水源候補地を選定して、ボーリング調査なども実施していく。

Q 27年度で終了する第1次総合計画の見直しに当たっては、市民の行政に対する施策ごとの重要度や満足度の調査が必要と思われるが。

A (市長) 市民の、行政に対しての要望や意見を聞くために、「市民満足度調査」を26年度に実施し総合計画策定の基礎資料としたい。



渕野けさ子 議員

挾間の水問題について

Q. 挾間町上水道水源調査研究会が、三カ年にわたり水源の問題点と新水源の可能性についての調査研究を行い、結果をまとめました。そこでお聞きしたい。

(ア) 新水源の調査はどの様にするのか。

(イ) 伏流水や地下水等も含む調査なのか。

(ウ) 実現可能になる調査か。

A. (市長) 新水源調査は専門業者に委託する。第一段階として、地盤の電気抵抗値をコンピュータ解析する電気探査を行う。この調査で地下水が貯留する地質構造を把握し、地下水の分布や断層の規模を推定する。第二段階として、ボーリング調査を行う。詳細な帯水層の深度・揚水量・水質などを確認。現時点では既

存施設を継続使用できる地点の地下水を考えるが、伏流水の検討も視野に入れていく。この調査は水源として実現可能かどうかを探るもので細心の注意を払い実施していきたい。

Q. 今回、伏流水よりも地下水を選んだそのちがいは。

A. (水道課長) 伏流水を取得するには水利権の確保が必要。地下水には水利権の必要がありません。標高が高い所の地下水の方がポンプアップする電気代が少なくて済むので、地下水を優先と考えている。

※その他、防犯灯設置のあり方、コミュニティバスについての要望、フッ化物洗口についての質問もしました。



由布川峡谷5年計画の進捗状況について



甲斐裕一 議員

Q. 由布川峡谷観光協会が提出した5年計画では、駐車場の整備、遊歩道整備、ハウスの建設等が上がっているが、市としてどのように検討しているのか。

A. (挾間振興局長) 駐車場の整備は、現在、相手側の所有権移転の手続き中で用地買収に入る予定。遊歩道の整備、ハウスの建設については、協会、利用者、それに地元とも協議して事業を進めたい。また、ハウス建設については、特に地域活性に繋がる重要な建物となるため、しっかり研究して事にあたりたい。

Q. 奥別府観光地の客を誘致するためのルートとして、別府市・枝郷から挾間町・小平までの間の道路整備を行う考えはないか。

A. (商工観光課長) 別府市との関連があるので、別府市には働きかけを行い、地元と協議していきたい。また、建設課との関連もあるため連携して進めていきたい。

道路整備について

Q. 時松から朴木の間の道路が非常に悪いので、地区の方たちには不便が生じている。特にひどいところは応急措置をしてはどうか。

A. (建設課長) 現在、改良工事を進めているが、舗装が悪い所は工事をやっているのですその辺もあわせて順次考えていきたい。

Q. 東行田代線改良工事について、未改良区間について、この路線はきの子の里までとなっているので、年次計画の上、早急なる工事完成を望むが。

A. (建設課長) 現在の工事区間は1キロメートルとなっており、最終的にはきの子の里までと考えておりますので、そのようにやっていきたい。



加藤幸雄 議員

由布市の中・長期財政計画について

Q. 由布市の中長期財政計画についてどのような基準で作成しているかお聞きします。

A. (市長) 中長期財政計画の考え方は、平成24年度決算をベースに経済情勢等を勘案し、県が示した推計指標と由布市の独自の財政事情で作成をしています。中長期財政計画は非常に厳しい見通しとなっています。要因として、合併特例債の2年後終了等の地方交付税の減額が大きく影響しております。歳入は市税の増と消費税率の上昇に伴う地方消費税交付金の増収を加味しています。収支見通しは平成29年度から単年度収支見込みで赤字が生じ、厳しい状況になっております。

高齢者対策について

Q. 高齢者対策についてですが、由布市の高齢化率は現在30%前後かと思えます。これから10年経つと、団塊世代の方が後期高齢者となります。その時ベッド数は全国で90万床しかないのに、医療機関でなく介護・福祉に頼ることとなります。

す。そこで介護・福祉をどのように考えているのかお聞きします。

A. (市長) 団塊世代が後期高齢者の仲間入りすることについての対応ですが、団塊の世代が75歳以上となる2025年をめぐに、重度な要介護状態となっても住み残れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

A. (健康福祉事務所長) 介護・福祉の連携を含めた対応について、少し詳しく説明をさせていただきます。

10月7日に由布地域包括ケア推進プロジェクト会議を設立いたしました。この会議は、由布市の医療関係者等24名で構成し、要介護状態にある高齢者に限らず、疾患や障がいがあっても可能な限り住み残れた地域で生活することができるよう、多職種間が連携し、支援する体制です。モデル地区を設定し訪問看護・介護連携による支援の実践実施する予定にしております。

少子化対策について

Q. 少子化対策についてです。若い人が働く場所を確保するための企業誘致、地場産業の拡大支援についてお聞きします。

A. (市長) 企業誘致は行ってきたが、参入を試みる企業はいません。農業関係による方法、観光の総合産業によって雇用を増やしていかざるを得ない状況です。

※その外、6次産業の取り組み、地産地消で雇用を増やすことについて質問しました。



太田正美 議員

行財政改革について

Q. 由布市中長期財政収支の試算によると、普通交付税算定替終了の影響額が、5年で段階的に12億6000万円の減額と予想されている。市の対策は？

A. (市長) 行財政改革を推進しつつ財政力を高め、他の合併市町村とともに国に要望をしてゆく。

Q. 市の自主財源の確保の方向性はどうか？

A. (市長) 市税の徴収率向上に力を注ぎ、住宅使用料などの徴収強化や遊休財産の貸し付け、売却、有料広告事業の推進による自主財源の確保に努める。

由布市水道行政について

Q. 供給単価と給水原価の差額、

マイナスの22.74円に対して、市の対応は？

A. (市長) 目標値を設定し漏水調査の拡充を図り、老朽管の計画的な更新工事を実施し有収率を改善する。また、水道料金滞納の改善と適正な水道料金の検討を行う。

Q. 水道管の老朽化に対する対策は？

A. (市長) 計画的に更新工事を実施する。

由布市の観光産業対策について

Q. 由布市観光基本計画の具体的な実施案と予算配分はどうか？

A. (市長) 滞在型、循環型保養温泉地を目指し、観光戦略の予算要望を市内観光7団体から、事業名と事業費並びにその取り組みの狙い等を提案頂き、商工観光課において、観光関係者の観光戦略と行政施策の事前調整を行っている。



野上安一 議員

市長のまちづくりビジョンについて

Q. 由布市長として、未来に向けてのまちづくりの想いビジョンをお聞かせ願いたい。

A. (市長) 由布市の総合計画に沿って「地域自治を大切にしたい住み良き日本一のまちづくり」をめざす。

Q. 元気なまちづくりの情報発信策の考えは、大分県内の各自治体は、国東の世界農業遺産指定や、豊後大野市はジオパーク構想に指定されるなど「未来に夢」を市民に与えて、地域の元気を発信している。市長の情報発信などの考えを。

A. (市長) 市のホームページやゆふいんラヂオなどを通じて情報発信している。

Q. 市民の皆さんに「夢」を持たせるような「未来に向けてのまちづくり」を、私たちの子どもたちやその子どもたちに夢のあるまちづくりを進めてほしい。

湯布院の「温湯地区」の拠点整備の推進について

Q. 温泉や観光や暮らし等の観点から、この温湯地域（湯の坪・中島・津江・岳

本）公共サービスの実態を踏まえて「温湯地域」の個性を活用した「地域型テーマパーク」として、公共事業のハードソフトの整備をする地域を官民一体となった、新しいスタイルの地域づくりを進める気持ちはないか。又、公共サービスの充実はできないか。

A. (市長) 温湯地域の地域型テーマパークの考えは、議員の話聞き、充分検討し、いい形でやるような方向で考えさせたい。公共サービス等について、「市コミュニティバス」地区内に民間路線バスを運行していることや、湯布院の中心部に近いことから運行路線に含まれていない。防災センターも市では計画していないのが現状。

消費税の導入に伴う由布市の考え

Q. 26年4月から消費税の導入が決定している。益々市民の負担は増してくるが、おんせん県の中核市としての由布市、更に健康立市を宣言している由布市である。市独自の方策として、温泉施設や健康づくり施設の「使用料」の消費税加算分について、何とか市独自で市民の負担が軽減する方策を考えないか。

A. (総務課長) 今回の国における消費税関連で、由布市では33の条例・121の施設関連の使用料が値上げの必要が生じることが規定されている。

A. (市長) 消費税の市民負担で、市民の皆さんと直接かわりある部分は十分考えてみる。

地域振興局の充実と強化について



長谷川建策 議員

Q. 6月から8月の間に、組織再編計画の市民説明会を開催したが、市民の意見に対する考えと対応は。また、今後の説明会開催の計画は。

A. (市長) 振興局は、3地域の特色を生かした地域に密着した組織体制としている。計画の基本方針は変わらないが、調整できるものは調整したい。また、行政組織に関する説明会等は考えていないが、必要に応じて市報等でお知らせしたい。

Q. 庁舎建設について、「ゆつくりとした空間のある庁舎」「夢のある市民のシンボルとなる庁舎」を建てるべきでは。

A. (市長) 説明会でも「市民が憩える空間がほしい」「市民が利用しやすいよう1カ所に集めるべき」という意見など、長期的な展望に立った市役所をつくってほしいという要望があった。市民ニーズを十分検討しながら、最終協議を行う

ている。

Q. 湯布院では、本庁舎のみならず、消防署や振興局、観光課の問題も含めて多くの意見があった。そういった意見をどう考えているのか。

A. (総務部長) 観光については、官民挙げて新しい組織を模索・検討している。そういったものを湯布院で行うことがいいのかなども含めて、検討を重ねている。

国民宿舎跡地の利用について

Q. 解体工事が進められているが、短期・長期的な計画はどうなっているのか。

A. (市長) 短期的計画として、施設解体後は現状の緑地を生かし、景観に配慮した広場として整備を行いたい。長期計画として、跡地利用検討委員会は公民館機能を補完する文化交流・情報発信等を含めた多目的センター施設をとしているが、行政組織機構と整合した検討や市民・関係者を含めた議論等も必要となる。担当課に検討を始めるよう指示をした。

その他に、学校等での防災教育、公共工事の設計委託について質問した。



工藤俊次 議員

国保税一世帯一萬円の引き下げを

Q. 国民健康保険法は、その第一条で「この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」と定めています。国保加入者の多くは、年金収入の減少に不安を抱く高齢者や、デフレ不況と円安のもとで厳しい経営を迫られる自営業者、農家等、また低賃金で働かざるを得ない非正規の労働者などで、その生活は極めて深刻な状況にあります。そこで、市民負担の軽減とくらしの応援として、国保基金や財政調整基金の活用等で、国保税一世帯一萬円の引き下げを求めます。

A. (市長) 国保基金の活用は、国保税の将来負担に対する激変緩和

和等の対応に備えるため難しい。
A. (財政課長) 国保会計は特別会計です。特定財源的に財政調整基金から繰り入れた例はございません。

その他に、

一、子どもの医療費は高校卒業までの助成を

一、住宅リフォーム助成制度の創設を

について質問をしました。



鷲野弘一 議員

大分のへその今後の計画について

Q. 東経131度26分3秒、北緯33度11分57秒、これが大分県の中心であり大分のへそです。庄内町中尾にあるが、観光面や由布市の宝として活用されていないが、市として公園等何か考えられているのか。

A. (市長) 平成18年度に由布市コミュニティ事業で案内板を設置、19年に大分の真ん中プロジェクト委員会を立ち上げて、県、市、地元地区の事例研修や意見交換を行ってきましたが、地区の高齢化等の労力不足で管理が困難で計画が中断していたが、本年11月に、大分県ノルディックウォーク連盟の主催及び猪野竹ノ下地区の協力で、盛大な「大分のへそを歩く」企画ができた

した。今後、市として、地元と再度協議を進めていきたいと考えます。

A. (商工観光課長) 駐車場、ごみ、し尿等の問題もあり、十分に協議を行い、由布市の宝とし、観光資源に磨き上げていきたいと思っています。

他に、小松寮の労働基準監督署より指摘を受けた問題・由布市内小学校の統廃合について質問をしました。





溝口泰章 議員

塚原の新たなメガソーラーへの対応は？

A. (市長) ソーラー開発に対し景観は財産という観点で考えていく。抑制の方向で担当課に協議させている。

Q. 高速道の左右に20万㎡と90万㎡のソーラー開発が広がることになる。しかも今度の開発主体は登記名からして中国資本だが。

A. (市長) その事実を掌握している。何かいい方法を考えているところだ。

Q. まさに早急な対応が必要。抑止条例の制定で外国資本によって塚原が無残に碎かれるようなことを座して待つようなことにならないようお願いする。

選挙開票の公正・正確性の確立を

Q. この度の市議選開票作業で

またもやミスが起きた。再発防止は？

A. (選挙管理委員会事務局長) 得票数をパソコンに入力する際の確認ミスが原因。作業事務従事者の適正配置体制に原因がある。

Q. 点検係から選挙長のチェックを経て最終段階の集計係でカウントミスがでているということとはこの流れを再検討すべきでは？

A. (選挙管理委員会事務局長) 点検係、集計係各1名の体制、得票数の集積方法、また速報時の得票数の出し方等含めた実施方法について、経験豊富な職員による検討を行い再発防止に努めたい。

湯布院中学建替え事業の財源更正理由は

Q. 国庫交付金が1億1千万円も減額し、その補填を合併特例債に振替えるのはなぜか。

A. (教育次長) 交付金の見込み違いがあり、不足する額を特例債に振替えるものだ。

*他に小中学校の学力向上策について質問しました。



太田洋一郎 議員

組織再編計画について

Q. 各地域振興局が地域の特性にあった振興局となることが望ましいがどう考えるか、振興局と住民が協働し自治を進めるための具体策と地域審議会にかかわる組織をどう考えるか。

A. (市長) 機能重視した振興局になるよう調整できるものは調整し進めたい。これまでの参加・連携・協働の考え方をより進化させ、住民主体の地域自治の仕組みをすることが大事と考える。今後の由布市の新しい自治組織の仕組みを地域コミュニティ活性化研究会並びに第2次総合計画で検討する。

1次産業活性化及び後継者育成について

Q. 安定した農業経営を推進するための取り組みと後継者及び新規就農者の育成サポートの取り組みは。栽培方法として自然栽培に取り組む生産者をサポートする考えはあるか。

A. (市長) 国の支援事業を最大限に活用し安定した農業経営を推進する。青年就農給付金や農地集積協力金の交付が受けられるよう人・農地プランの策定を推進する。自然栽培の成功事例ができれば次に広がると考える、取り組み生産者はしっかりと応援する。

※その他、消防団員の確保及び地位向上・待遇改善、豪雨災害に対する防災・減災対策について質問しました。



小林華弥子 議員

価格変更や事前の接触 禁止はプロポーザル違反

Q. 全共跡地の売買プロポーザルで、業者が応募の際に書類提出後に価格変更をしているが、これは市が定めている「プロポーザルの募集要領」で禁止されている違反ではないか。

A. (契約管理課長) 契約管理課で価格調書の差しかえを認めた。確かに手続違反だったが、1社しかなかったので大目に見た。

Q. プロポーザル募集を始める前に副市長や担当課長はこの業者と会って事前に測量させるなどの協力をしているが、これは禁止されている「事前の接触の禁止」にあたるのではないか。以前からこの業者に落とす事が決まっていた、やらせのプロポーザルではないのか。

A. (副市長) 私は事前に業者と会った。

A. (契約管理課長) 8月から9月頃にそういう話があって、提案書を

出すために測量することについては必要なので認めた。

市内にメガソーラー 計画が50件

Q. いま市内にメガソーラー計画はどのくらい持ち上がっているのか。

A. (総合政策課長) 同じ地域にダブった計画も含めて、湯布院地域に25件程度、挾間地域に15件程度、庄内地域に10件程度。

メガソーラー開発抑制の 条例をつくる

Q. 塚原の別の広大な土地を中国資本のメガソーラー目的の会社が買った事を、市はいつ把握していたのか？

A. (都市景観推進課長) 一カ月ほど前に書類を県にあげた。

Q. 職員はもつとこの問題に危機感を持って欲しい。これだけの計画をそのまま野放しでどんどん市内に入ってきたら大変なことになる。市は早急にメガソーラーについて抑制する条例をつくるべきだ。市長はその姿勢をみせて欲しい。

A. (市長) 私自身も危機感を持っている。その気持ち（開発抑制の方向）で行きます。

由布太分環境衛生組合議会報告

●平成25年第2回臨時会 (平成25年11月20日)

由布市議会選挙を経て由布市から生野征平、利光直人、渕野けさ子、溝口泰章、佐藤郁夫、太田洋一郎、大分市から帆秋誠悟、松本充浩の8名の議員が選出され臨時議会が開会されました。互選により議長に溝口泰章、副議長に利光直人議員を選出しました。

●平成25年第2回定例会 (平成25年11月29日)

(1) 平成24年度歳入歳出決算の認定

収入済額6億7497万4千257円、支出済額6億1100万716円、差引残額6397万3千541円を翌年度へ繰越すもので、監査委員より決算審査の報告があり、審査の結果全員の賛成で承認しました。

(2) 平成25年度補正予算(第1号)

歳入歳出の総額にそれぞれ1895万5千円追加し、6億

7309万6千円とするもの。歳入は分担金及び負担金を2001万8千円減額、前年度繰越金を3897万3千円増額して合計1895万5千円の増額。歳出は総務費33万8千円増額、衛生費73万4千円減額、予備費1935万1千円を増額とするもの。内訳は給与等の減額、委託料、備品購入費、予備費等の増額となっており、審査の結果全員の賛成で可決されました。

(3) 監査委員の選任

永松良雄氏が任期満了となるため新たに大塚裕生氏の選任について同意を求めるもので審査の結果全員の賛成で可決されました。

(4) 一般質問

渕野けさ子議員が①民営化、②高齢者のゴミ運び対策、について質問。①については「大分市との協議を踏まえ民間委託できるものはその方向で行く」②、集積所まで有料での収集で対応しているが収集体制の見直しも含めて調査研究していく、との回答がありました。

■ 平成25年第4回定例会で上程された請願・陳情の結果

区 分	件 名	代 表 提 出 者	結 果
請 願	挾間町上水道の新水源確保に関する請願	挾間町新水源確保期成会	採 択
陳 情	新消防署建設に関する陳情書	大庭 白祝 ほか2名	不採択 (※1)
	塚原全共跡地の利用に関する陳情書	大庭 白祝 ほか2名	趣旨採択 (※2)
	由布市湯布院町塚原における外資系企業による大規模土地購入と大規模太陽光発電(メガソーラー)開発に関する陳情書	藤澤 桂子	採 択

(※1)すでに議会の議決を経て予算化され、用地売買仮契約も完了している段階であるため。

(※2)売買契約はすでに締結されたが、順調に進展しておらず、市民の不安を払しょくしてほしいという願意は理解できる。

■ 賛否一覧表 ※○＝賛成、×＝反対 工藤安雄議員は議長のため表決権はありません。(議案第79号・80号を除く)

〔平成25年第4回定例会〕 ※その他の議案は、全員賛成で可決となりました。

議案名	議員名	議決結果	工藤安雄	佐藤正	生野征平	利光直人	田中真理子	佐藤人己	太田正美	淵野けさ子	溝口泰章	佐藤友信	佐藤郁夫	新井一徳	小林華弥子	二ノ宮健治	長谷川建策	甲斐裕一	廣末英徳	鷲野弘一	工藤俊次	加藤幸雄	野上安一	太田洋一郎
			議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果	議決結果
不動産の取得について		可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)		可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

主な議会のうごき

10月1日 議会広報編集特別委員会
10月7日 議会広報編集特別委員会
10月27日 由布市議会議員選挙

11月13日 平成25年第3回臨時会
11月27日 議会運営委員会

12月4日 議会運営委員会
平成25年第4回定例会(～12月17日)
12月9日 議会運営委員会
12月17日 議会運営委員会
議会広報編集特別委員会

編集後記

みなさん、明けましておめでとうございます。
この度、広報編集委員が変まりました。

「議会だより」が多くのみなさんに親しまれ、愛読されることを願い、編集委員一同取り組んでいこうとはりきつていくところです。

由布市は、「融和」「協働」「発展」を基本理念とし、合併8年間の礎を基に、市政は大きく前進しようとしております。市政の方向性、それに対する議会の動向をみなさんにお知らせしたいと考えています。

一方、編集委員会では「議会だより」に対する意見をお聞かせ願いたいと考えていますので、多くのご意見をお寄せください。お待ちしております。

甲斐裕一

由布市議会広報編集特別委員会



委員長	甲斐裕一
副委員長	田中真理子
委員	太田洋一郎
委員	野上安一
委員	加藤幸雄
委員	廣末英徳
委員	長谷川建策
委員	二ノ宮健治
委員	淵野けさ子